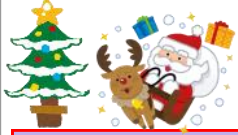


教育 かしま



地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

第48号

発行日
令和3年12月15日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会
Tel0299-82-2911 (内線522)



(電子版はこちらから)
総務就学課

鹿嶋市のオンライン教育

オリンピックで応援した国の文化を学ぶ
ーアフターオリンピック授業ー



今年7月、東京2020オリンピック・パラリンピックのサッカー競技がカシマスタジアムで開催された際、市内小中学校ではそれぞれの学校が応援する国を決め、その国の文化、言語について調べ、応援する国への興味、関心、愛着を高め、当日は各学校とも、様々なスタイルで応援を行う「全校応援事業」を実施しました。オリンピック終了後も、「アフターオリンピック授業」において応援した国との交流を継続しております。

アフターオリンピック授業では、オリンピック・パラリンピックをきっかけに学んだことをさらに深めるため、応援した国の出身者の外国語指導助手（ALT）たちと交流する機会を設けました。子どもたちはALTの話を聞くだけでなく、「What fruit do you like?」等の質問をしたり、小学校の良さについても伝えたりすることができました。

初めのうちは話すことに緊張する様子を見せていた子どもたちでしたが、学んできた英語をいかして、徐々に笑顔でコミュニケーションがとれるようになっていました。

質の高い教育の実現を目指して ー遠隔教育実証研究事業ー

市では、英語教育において遠隔授業（リモート授業）の研究を行っています。

この授業は茨城県の実証研究事業となっており、授業を配信する鹿島小学校には、英語教育に関する高度な専門性をもつ人材を教員として特別に配置しています。特別に配置された教員と授業を受信する学校（鹿野中学校）をオンラインでつなぎ、質の高い教育を実現し生徒の学力向上を図っています。

授業では、先生も生徒とも英語のみで進めるほかに、オーストラリアの同年代の生徒とオンラインでつながり、学習してきた成果をいかして交流をしています。



遠隔授業の様子（鹿野中学校）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

昨年は、コロナ禍で実施されなかった全国学力・学習状況調査が2年ぶりに実施されました。全国学力・学習状況調査は児童生徒の学力や学習状況を把握、分析して、教育政策の成果や課題を検証し、また、それらをもとに改善を図るため、全国的に調査を行うものです。

【対象学年】小学6年生 中学3年生

●学力調査の比較

【対象教科】国語 算数・数学

区分	教科	全国、 県平均との比較
小学校	国語	上回る
	算数	上回る
中学校	国語	県平均と同じ
	数学	県平均と同じ

●学習状況調査の注目点

「学校で意見交換や調べものをするのに、ICT機器をどの程度使用していますか？」
週1回以上と回答した割合

市：約66% 県：約41% 国：約36%
学校において積極的にICTを活用した授業が展開されていることが伺えます。



世界につながる大きな一歩

「中学生国際交流事業(韓国 ソギポ市)」

9月から11月にかけて、市内の中学生が姉妹都市・韓国西帰浦(ソギポ)市の中学生とオンラインによる交流事業を行いました。

本事業は国籍や文化の違いを超えた友情を育み、広い視野と国際感覚を持った次世代を担う人材の育成を目的に実施しているものです。

両市からそれぞれ参加した9名は、1対1のグループを作りメッセージ交換アプリ「LINE」の翻訳機能を活用して交流を行い、様々なトークテーマ(学校生活、好きな音楽など)を中心に、多くのメッセージを交換していました。

初めて顔を合わせる機会となったオンライン報告会で鹿嶋市の生徒は、事前に練習した韓国語で「たくさん話せて楽しかった」「西帰浦市に行ってみたい」など感想を発表しました。



夢への第一歩！

かしま子ども大学の開催

令和3年度のかしま子ども大学は、定員を上回る24名の児童が学生となり計6回の授業を受講しました。

かしま子ども大学の講師は、地域人材に依頼をし、学校の教室を飛び出した学びの体験を提供しました。

学長である川村等教育長は10月16日(土)の開講式で「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため親子で同じように学ぶのは難しい面もあるが、親子で学び、家庭に持ち帰ってからも一緒に勉強をし、子どもたちの興味関心を伸ばす機会となれば」とこの事業への思いを語りました。

授業では、親子で楽しく学ぶ姿が見られました。

かしま子ども大学は、これからも子どもの知的好奇心を刺激し、学ぶ楽しさを育み、身に付けた知識が将来の「夢」につながっていくような学びの体験を提供していきます。



オリンピック・パラリンピック教育推進事業 元日本代表選手によるブラインドサッカー体験会

障がい者スポーツへの興味・関心の向上と障がいのある人への理解、そしてインクルーシブ教育の推進を目的に、ブラインドサッカーの元日本代表キャプテンである「落合 啓士（おちあい ひろし）」さんを、波野小学校、豊郷小学校、中野西小学校に招きました。

11月5日（金）に波野小学校で行った体験会では6年生の児童たちがアイマスクを付けて、準備運動をしたり、公式球（中に鈴が入って音が鳴る球）を使用して、パスやトラップの練習をしました。

練習後、試合形式でゲームを行いました。アイマスクを付けた子どもたちは最初、周りからの声も少なかったことから、ごちない動きになっていましたが、落合さんより「周りが声掛けをしないと本人はどう動けばいいかわからない。そして声をかけるときは相手に物事をきちんと伝えることが大切である。」とアドバイスを受け、子どもたちは積極的に声掛けをし、段々と、スムーズに動けるようになりました。

体験会後は5年生も交えて講演会を行いました。講演会で落合さんはこれまでの経験から、「夢の為に努力する大切さ」や「周りの人を思いやり勇気をもって行動することの大切さ」を語りかけ、子どもたちは真剣に聞き入っていました。

学校はどうやって直すの？

中野東小学校で工事見学会の実施

現在、中野東小学校では老朽化した校舎や体育館の改修工事を行っています。

工事中の場所については工事関係者以外は立入りが出来ないのですが、自分たちが毎日過ごしていた教室がどのように新しくなるのかを知ってもらう良い機会ととらえ、11月17日（水）に工事現場見学会を企画しました。

当日は、1年生から1クラスごと順番に工事業者より工事内容の説明を聞き、その後、北校舎2階教室の壁の塗装と掲示板の制作状況を見ていきました。見学中は自由に質問出来るようにしたところ、「塗装工事は何日くらいかかるんですか」「1日に何人くらい作業しているんですか」など、他にも、完成すると見えなくなってしまう電気配線などを指さして「何の線なのか」など、積極的に質問が出され、子どもたちは興味津々な様子でした。



令和3年度鹿嶋市教育会児童生徒音楽発表会

11月11日（木）に鹿嶋勤労文化会館で、鹿嶋市内公立中学校生徒の音楽発表会が行われました。

市内5つの市立中学校で合計11グループが打楽器や木管楽器、金管楽器など様々な楽器によるアンサンブル演奏がなされ、1グループ3～7人という少ない人数ながらもそれぞれの生徒が様々な音色を奏でました。どの学校の演奏も日頃の練習の成果が感じ取れ、心に残る素晴らしい演奏でした。



アントラース給食が 鹿行5市で提供されました



市では、10月4日（月）に市立の小中学校と幼稚園にアントラース給食を提供し、子どもたちからは、「給食美味しかった」「アントラースの選手が考えた給食と知った時は驚いた」と嬉しそうに話していました。

鹿島アントラース創設30周年記念の事業として、アントラースのホームタウン5市（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）の市立の小中学校と幼稚園において「アントラース給食」が提供されました。

この事業は、鹿島アントラースの遠藤選手、土居選手、荒木選手の3選手が企画会議を行い、選手たちが考えたメニューを基に栄養バランスの調整をして、給食センターで試作を行い献立を考えました。



▲給食はチーズハンバーガー【丸パン、ハンバーグ、スライスチーズ】、マカロニサラダ、コーンスープ、牛乳

中野西小学校が幡谷教育振興基金の優秀校に選ばれました

茨城県幡谷教育振興基金とは、将来の科学技術を担う人財を育成するため、理科教育に顕著な成果を収めた小中学校に表彰状及び賞賜金が贈られるものです。

茨城県内の学校の中から6つの学校が選ばれ、その中に中野西小学校が見事に選出されました。

11月29日（月）に中野西小学校で贈呈式が行われ、代表の児童2人が表彰状と目録を受け取りました。



手指消毒用ジェルを寄贈頂きました

10月14日（木）に、株式会社はやぶさ様より、新型コロナウイルス感染予防対策用品を寄贈して頂きました。

これは鹿行5市の子育て支援施設などに寄贈されたもので、鹿嶋市には、手指消毒用ジェル250本を頂きました。寄贈品は、市内の子育て支援施設や認定こども園、保育園、幼稚園等に配布され、感染予防対策として活用しています。



↑(株)はやぶさ様より寄贈されました。
左から野口健康福祉部長、錦織市長、
(株)はやぶさ 平出 代表取締役、
川村教育長



↑寄贈して頂いた手指消毒用ジェル

豊津小学校へ設備を寄贈頂きました

6月22日（火）に根本工務店様より豊津小学校へ寄付があったことに加えて、フェンスや屋外照明設備の寄贈があり、11月2日（火）に鹿嶋市役所で贈呈式が行われました。

今回、寄贈いただいた設備については、学校のみならず、地域交流にも活用をし、これまで以上に地域密着型の学校を目指します。



↑目録贈呈の様子
左から錦織市長、根本工務店
根本代表取締役、川村教育長